

2008. 5. 02

一橋大学・連合寄付講座

『労働組合の組織と役割』

連合総合組織局長 大塚敏夫

はじめに

「労働組合」はどのように見られているのか？

- ・ 経営側は-----「めんどくさい」「コスト高要因」
- ・ 政府は-----「政治的対抗勢力」「労働者を代表しない」
- ・ 勤労者は、市民は-----「分からない」「暗い」
- ・ 組合員は-----「組合費が高い」「役に立っていない」

1. 労働組合の置かれている位置

① 労働組合の組織状況（別紙参照）

② 社会的影響力の低下、労働者代表制の危機

- ・ 組織率 18.1% 4557 万人の未組織労働者
- ・ 特に中小・地場では 2573 万人の雇用労働者、しかし、組織率はわずか 1.1%
- ・ パート労働者は 1218 万人で、組織率は 4.8%
- ・ 未組織労働者の 82% 1700 万人はパート・契約労働者など非正規雇用労働者、

③ 組織率低下の原因

- ・ 集团的労使関係から個別労使関係へ
- ・ 雇用構造の変化
- ・ 勤労者意識の変化
- ・ 新自由主義の展開、規制緩和、「自己責任」

2. 労働組合の組織構造と役割

① 単位労働組合（単組）-----日本的労働組合の典型、企業別組合

- ・ 労使関係を基本に賃金・労働条件・企業内福利厚生制度等の改善

② 産業別労働組合（産別）-----同一産業の単組の結集体

- ・ 産業政策の立案、実現、同一産業労働者の賃金・労働条件の連携・連帯

③ ナショナルセンター＝連合 52 産別 675 万人

- ・ 勤労者を代表する政策立案と実現
- ・ 組織拡大の環境づくり
- ・ 政治勢力の結集、平和運動の展開

- ・国際労働運動への参加
- ④ 地域の労働組合組織＝地方連合会（４７都道府県）
 - ・地域段階で上記行動の実施
- ⑤ 地域協議会
 - ・勤労者の拠り所
 - 組織拡大、労働・生活相談、社会貢献
- ⑥ 国際組織＝国際労働組合総連合（ＩＴＵＣ）１５５ヶ国１億６８００万人
 - ・国際的な労働組合の連携
 - 「中核的労働基準の確立」
 - ・結社の自由・団結権、団体交渉権の保障
 - ・強制労働の禁止
 - ・児童労働の根絶
 - ・平等・反差別の実現
- ⑦ 産業別国際組織
 - 同一産業労働組合の国際的な連携
 - ＩＭＦ（国際金属労連）、ＥＩ（教育インターナショナル）、ＵＮＩ（ユニオンネットワーク）、ＰＳＩ（国際公務労連）など

３．今後の課題

連合評価委員会（２００３．３ 中坊公平、寺島実郎、イーデス・ハンソン等）の提言
「労働組合の再生のため、企業別組合の限界を突破し、支援を求める働くものすべてに貢献する社会的運動として再出発」すべき

- ① 組織拡大＝すべての働くものの連帯
- ② 不条理に対抗する社会運動の展開
- ③ 労働を中心とした福祉型社会の実現
- ④ 人材育成
- ⑤ その他

以 上